

ぱびるす

聖学院大学総合図書館報

第62号 (2016年春)

祝卒業・
新生歓迎号



図書館体験



吉田 博司

我々研究者にとって、図書館は命である。ことに歴史の古い時期の文献は、書店や古書店では手に入らないものが多い。そのため歴史のある大学図書館を渉猟することになる。

私は明治・大正期の日本政治史が研究対象で、当時の雑誌などは慶応義塾図書館の地下にもぐり、ホコリにまみれた『太陽』や『中央公論』などをめくったものである。19世紀ドイツの国法学の原典にあたる必要があったときも、同図書館で保存されており、助かったおぼえがある。タイムスリップしたようにも感じた。

慶応の他にもよく利用したのが国立国会図書館である。上野の分館にも行った。開架ではないので待ち時間が長かったが、文献は豊富であった。

その他、東京大学、国学院大学、同志社大学などの図書館に御世話になった。市立図書館では、加賀市立図書館で思わぬ資料を見つけた。金沢大学附属図書館のついでに行ったのだが、館長が郷土史研究家で、親切に紹介してくださったのである。

海外の図書館では、オックスフォード大学の思い出がある。特別な研究資料があったわけではないが、戦後高まった日本研究の現状を把握しておきたかった。セント・アントニーズ・カレッジの一角に、日産の支援で設置されたモダンな日本研究機関があり、その地下開架にもぐって調査した。帰りに、ブドウの木があるパブで食事をした。

今、図書館はコンピューターのおかげで検索も楽になり、資料提供サービスも向上した。しかし、足を使って図書館巡りをするのも大切に思う。思わぬ出会いと発見があるかもしれないからだ。

美しい図書館との出会いもその一つだ。慶應義塾は赤レンガの旧図書館が印象的である。イギリ

スのケムブリッジ大学は、ケム川のほとりに客船のような佇まいで人をひきつけている。また、オックスフォードのラドクリフ・カメラは古代ギリシャの神殿のような雰囲気とその伝統を感じさせる。アバディーン大学はスコットランドであるが、花崗岩の白壁が陽光に映え、輝いている。

やはり古い歴史のある図書館は美しい。

(総合図書館長 政治経済学部政治経済学科教授)



おすすめ本紹介

『暴力の人類史』(上・下)

スティーブン・ピンカー 著

幾島幸子, 塩原通緒 訳

青土社 2015.2

この書は、人類史における暴力の態様と増減について、殺人・宗教・イデオロギー戦争等の実証、分析を通して解明した大作である。これにより筆者は人類の希望を示唆する。



選ぶ楽しさ、 伝える喜び



112D071 村崎 はるか

図書館での思い出と言え、学生選書が一番強く印象に残っている。

学生選書では私たち学生が書店に行って(あるいはリストを用意して)自分の読みたい本、他人に読んでもらいたい本を選び、その本がまだ大学の蔵書の中になれば、大学図書館が購入し、新しく蔵書の中に加えてくれる。

学生の役割はそれで終わり、というわけではない。自分が選んだ本を読み、選書の参加者が集ま

り読書会を開き、本のプレゼンを行うのだ。

この読書会の一番面白いところは、参加者それぞれの本の好みや読書傾向が、ほんの1、2分でわかってしまうところだ。一番多いのはやはり小説だが、同じ小説という形態であっても、ある人は純文学や詩集、またある人は児童文学、ライトノベル、またまたある人はホラー、ミステリーと、見事にジャンルがバラバラだった。小説以外にも、専門書やノンフィクション作品、写真集を選んでいる人もいた。

私は普段から推理小説、特に警察小説を好んで読んでいて、偏った読書傾向になっているのだが、読書会で他の人たちのプレゼンを聞いて、それまでの自分なら絶対に興味を持たなかつたであろうジャンルの作品を、少しずつではあるが読むようになり、ありきたりな言葉ではあるが、世界が広がったような、そんな風に感じられた。

さて、学生選書も読書会を行ってよいよ終わりか、というところ、そうではない。最後の仕事として、本を紹介するポップ作りがある。自分が選んだ本を紹介するポップを自分の手で作成し、図書館の一角で本と一緒に展示する。

個人的に、このポップ作りは作成段階ではなく、展示してからが一番楽しいと私は思っている。学生選書コーナーに展示されていた本が貸出状態になっているのを見たときだ。それはつまり、自分が面白いと思った本が、自分の手で試行錯誤しながら作ったポップを見た人によって借りられていったということ……このときの嬉しさと言ったら、緩んでしまう頬を引き締めようとして失敗してしまうほどだ。

本が好きなのはもちろん、そうでない人も、ぜひ一度は学生選書に参加してみたい。書店やリストで本を選んでいるときのワクワク感、読書会、ポップ作りの楽しさ、展示した本が貸し出されていることに気づいたときの嬉しさを味わってもらいたい。
(こども心理学科4年)

図書館サポーター「セラエノ」

有志学生が、図書館をより便利に楽しくする展示・広報・イベントなどの活動を行っています。
活動日：毎月第三月曜日 昼休み
活動場所：図書館2階アクティブラーニング室D

図書館を十分に活用できるように

115A041 宗形 謙仕



大学に入学してから何度も図書館を利用しているのですが、そのほとんどはレポート作成のためのパソコン使用や、資料を印刷するためでした。本も授業のレポート作成のために借りたくらいで、自分の読書のために本を借りることはありませんでした。講義をたくさん取ったことや、新しい大学生活に慣れるのに必死だったこともあるのですが、高校までは学校や地域の図書館で結構本を借りていましたので、大学の図書館をまだ十分に活用できていないことはとても残念です。

基礎ゼミの「図書館ガイダンス」で、大学図書館の活用法を教えてくださいました。レポート作成に必要な書物や資料の検索の方法や、それがどこにあるかもすぐわかるようになりました。聖学院大学の図書館には約30万冊もの蔵書があるとのことなので、少しでも多くの本に触れ、知識を増やせるように活用したいと思います。

聖学院大学の図書館は本だけではなく、パソコンやタブレットを借りることができ、視聴覚コーナーではDVDを見ることもできます。洋書から和書、児童書や絵本が幅広く揃えられ、新聞や雑誌を読むこともできます。これらを十分に使えたなら、これからの自分の成長が大きく助けられることでしょう。あるのに使わない、使えないことは本当に残念なことです。

まだ時間の使い方に慣れていないので図書館と仲良くなれてはいませんが、やがてリラックスできる自分の居場所の一つとして、充実した時間を過ごせるようになりたいと思います。

「図書館」と聞くと難しい本ばかり置いてあり、静かにしなくちゃいけない、飲食してはいけない堅苦しい場所だと思う人がいるかもしれません。けれど図書館には、自分の知らない未知の世界が広がっており、心を休めることができ、その静けさの中で気持ちの切り替えもできる、できる事の多い場所だと私は思います。そのためにもこれから、もっともっと図書館を利用していきたいです。

(欧米文化学科1年)

全国大学 ビブリオバトル2015 ～首都決戦～への道のり

今年度は、学内で2回の予選会を開催した。一つは昨年度と同様、ヴェリタス祭に合わせて図書館主催として、もう一つは、日本文化学科1年次必修の授業「ライフデザイン・良く生きるA」内のビブリオバトルである。この授業でのビブリオバトルの取り組みは、今年度で三年目を迎え、授業を担当されている清水均先生のご協力のもと、学内では初となる授業での予選会開催となった。

「ライフデザイン」予選会からは、秋本拓人さん(日本文化学科1年)、図書館の予選会からは、安井彩乃さん(児童学科1年)が、チャンプとなり、それぞれ関東地区決戦を勝ち進み、首都決戦の本戦へと駒を進めた。本戦への出場者は全国から30名であり、本戦に同大学から2名出場を果たしたのは本学だけであった。

12月23日、よみうり大手町ホールで開催された本戦は、どのバトルの発表も全国大会に相応しいレベルの高いものであった。秋本さんは、残念ながら準決勝で敗退となったが、安井さんは決勝進出を果たすという快挙を成し遂げた。惜しくも受賞は逃したが、両名共に本戦の大舞台上、素晴らしい発表を行っていた。忙しい中、準備と練習を重ね、本戦に出場した二人の健闘に心から敬意を表したい。

本戦出場者より感想を一言



素敵な出会いが沢山あり、新しい本を知り、貴重な経験をさせて頂くことができました。ありがとうございました。

115C098 安井 彩乃



自分が好きな本を他人に知ってもらおうと試行錯誤するのは苦労しましたが、楽しかったし、貴重な体験でした！

115J002 秋本 拓人

2015年度 図書館の動き

●授業連携強化・ワークショップ開催

授業支援・連携を積極的に実施した。政治経済学科は教員と館員による授業プログラムを通年展開、欧米文化学科はPOP作成などのワークショップ、日本文化学科はPPT作成体験や全国大学ビブリオバトル予選会開催などである。

●「桶川honプラス+」イベント開催

2月13日、新たにできたイベントスペース桶川honプラス+にて、聖学院大学のイベント企画としてビブリオバトルとハンドベルクワイアのミニコンサートを開催した。

●高校生向け 夏の図書館開放

夏休み期間(8/5～9/12)、本学の図書館を高校生に向けて開放する試みが、初めて行われた。

●全国大学ビブリオバトル本戦出場

詳細については左記参照。

●図書館サポーター「セラエノ」活動開始

名称が「セラエノ」に決まり、5月より正式に活動を開始した。新たなメンバーも加わり、少しずつではあるが、活動を展開している。

●和雑誌見直し実施

和雑誌の購読・寄贈の見直しを実施し、停止55件、Web切替38件、新規10件とした。

●書架狭隘化の深刻化

書架狭隘化が深刻化してきている。早急の対策が必要であるが、対策が思うように打てていない状況である。

●第6・7回学生選書

春と秋と2回の学生選書を行った。会場は春が紀伊國屋書店(新都心)、秋は丸善(桶川)で、のべ15名の学生が参加した。

●古書募金

退職される先生方から不要となった書籍の寄付をいただき、Webで販売した成果を大学へ還元する「古書募金」が、聖学院ゼネラルサービスの協力を得て開始した。

●図書館システム見直し検討開始

保守期間終了を受けて、図書館システムの見直しを開始した。2候補まで絞り、今後、検討を重ね、2017年春の稼働を目指すこととなる。

2015年図書館の統計

(2016年1月31日現在)

I 図書館の推移

	学生数	蔵書数	年間受入冊数	開館日数	貸出冊数	資料費
	人	冊	冊	日	千冊	千円
2015	2,098	304,067	3,530	283	11.5	26,590
2014	2,161	300,897	3,053	281	13.3	27,788
2013	2,419	299,396	3,343	282	14.2	27,216
2012	2,513	296,694	4,261	283	15.8	27,654
2011	2,677	293,148	4,930	275	16	30,849
2010	2,768	288,629	5,116	288	16	30,465
2009	2,724	283,610	5,042	281	16.9	30,497
2008	2,827	277,506	6,570	280	17.6	30,583
2007	2,875	273,877	8,148	276	17.9	32,267
2005	2,968	254,921	6,878	232	18.4	29,700
2000	2,549	219,368	6,769	274	18	35,805
1995	2,137	163,506	13,438	271	21.5	39,700
1990	1,769	96,752	8,195	280	11.8	22,650
1985	1,005	51,000	5,043	284	10.1	12,399
1980	877	36,000	2,599	236	6.8	7,588
1975	763	22,000	4,265	183	3.5	3,754
1968	256	10,000	2,838	[247]	[1.4]	[1,380]
1967	125	7,000		[247]	[1.4]	[1,380]

規程の変更に伴い、1999年以降は消耗品図書も含めた冊数とした。

II 蔵書冊数

	和書	洋書	合計
総記	11,580	1,447	13,027
哲学・宗教	22,255	16,149	38,404
歴史・地理	19,577	3,324	22,901
社会科学(含教育学・福祉)	83,973	18,609	102,582
自然科学(含医学)	13,317	1,212	14,529
工学(含家事)	7,378	482	7,860
産業	5,602	472	6,074
芸術(含楽譜)	10,734	944	11,678
語学	11,279	2,950	14,229
文学	42,987	14,274	57,261
その他	10,166	5,356	15,522
合計	238,848	65,219	304,067

III その他の蔵書資料数

	冊数	種類	冊数
和雑誌(紀要・寄贈含)	415	カセットテープ	751
洋雑誌(寄贈含)	112	ビデオ・LD・DVD	3,172
スライド	34	CD	1,319
マイクロ資料	18,814	CD-ROM	809

IV 館外貸出冊数(図書・製本雑誌):分類別

(2015年4月1日～2016年1月31日)

学生・院生・履修生のみ

	和書	洋書	合計
総記	412	0	412
哲学・宗教	1,403	7	1,410
歴史・地理	743	1	744
社会科学(含教育学・福祉)	3,750	12	3,762
自然科学(含医学)	513	0	513
工学(含家事)	175	0	175
産業	105	0	105
芸術(含楽譜)	620	0	620
語学	811	7	818
文学	1,718	8	1,726
その他	1,098	133	1,231
合計	11,348	168	11,516

V 館外貸出冊数:学科・学年別

(2015年4月1日～2016年1月31日)

所属・学年	図書(製本含む)	未製本雑誌	CD	
政治政策	2年	25	0	0
	1年	18	0	0
アメ・ヨ文化	後3年	62	7	0
	後2年	20	0	0
	後1年	77	4	1
	2年	14	0	0
	1年	88	1	0
人間福祉	2年	90	5	0
	1年	99	7	0
科目等		75	0	0
大学院生小計		568	24	1
政治経済	4年	219	3	3
	3年	183	14	10
	2年	356	1	10
	1年	373	1	10
コミュニティ政策	4年	109	4	3
	3年	88	0	1
欧米文化	4年	444	3	7
	3年	368	2	15
	2年	534	18	26
	1年	361	1	24
日本文化	4年	536	0	10
	3年	905	6	2
	2年	858	7	11
	1年	407	2	3
児童	4年	568	18	6
	3年	1,201	7	4
	2年	353	0	1
	1年	434	0	1
こども心理	4年	275	3	1
	3年	319	4	7
	2年	498	0	2
	1年	289	12	1
人間福祉	4年	274	1	2
	3年	323	5	1
	2年	182	0	1
	1年	391	0	0
科目等		100	2	0
学部生小計		10,948	114	162
院生・学生合計		11,516	138	163

VI その他(他館との協力等)

(2015年4月1日～2016年1月31日)

資料借用	90	複写依頼	322
(内、学生・院生 29)		(内、学生・院生 119)	
資料貸出	60	複写受付	198
紹介状発行	4	視聴覚コーナー利用	1,161
	(内、院生 3)	館内ノートPC貸出	4,492
紹介状受付	1	館内iPad貸出	1,368
文献検索	29	マイクロ利用	3

発行・編集 聖学院大学総合図書館
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号
電話 048-725-5461 FAX 048-780-1096
E-mail: lib@seigakuin-univ.ac.jp
URL: http://seiglib.seigakuin-univ.ac.jp/